

[採用に関するお問い合わせ]

財務省

大臣官房秘書課

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
TEL.03-3581-4111 (内線5305)

https://www.mof.go.jp/about_mof/recruit/mof/index.htm



M I N I S T R Y O F F I N A N C E

財務省

一般職入省案内

2019





財務事務次官 岡本 薫明

巻 頭 言

私たちは、
まだ見ぬ将来世代に思いを馳せています。
高い志を持った職員一人ひとりが、
日本の未来について考えています。
私たちは楽しみにしています。
これからの日本を担う、
志高き皆さんが、財務省の一員となる日を。

財務省の組織

財務省

財務大臣
副大臣 (2)
大臣政務官 (2)
大臣補佐官
事務次官
財務官
秘書官

[財務省の使命]

納税者としての国民の視点に立ち、効率的かつ透明性の高い行政を行い、国の財務を総合的に管理運営することにより、健全で活力ある経済及び安心で豊かな社会を実現するとともに、世界経済の安定的発展に貢献すること。



CONTENTS 目次

巻 頭 言 01

財務省の組織 02

採用担当者からのメッセージ 05

第1部 財務省の業務

 **主計局**
国の歴史の1ページをつくる 06
主計局主計官補佐(農林水産第一係担当)
門倉 大輔 [平成10年入省]

 **理財局**
多岐にわたる業務を通じて 07
理財局国債業務課借入金係長
今井 愛 [平成22年入省]

 **国際局**
日本を超えて世界へ 08
国際局地域協力課課長補佐
渡辺 直人 [平成5年入省]

主税局 / よりよい税制のための不断の見直し 09

関税局 / 国際貿易の秩序ある発展に向けて 09

 **大臣官房**
財務省の看板を背負って 10
大臣官房文書課国会係
金原 和歩 [平成29年入省]

第2部 特集

 **海外勤務** 11
開発途上国の発展のために
米州開発銀行
萬 浩之 [平成13年入省]

財務省職員の活躍するフィールド 12

係員の1日 13 **係員の1週間** 14

 理財局 国債企画課国債総括係 片田 峻亮 [平成28年入省]	 主計局 厚生労働総括係 佐竹 千尋 [平成29年入省]
--	---

キャリアステップ 15

 理財局財政投融资 総括課資金企画室資金企画第一係 二宮 瑠里 [平成26年入省]	 国際局 調査課課長補佐 氷海 剛 [平成6年入省]
 大臣官房 秘書課服務第二係長 天谷 季子 [平成21年入省]	 関東財務局 千葉財務事務所長 大島 朗 [昭和58年入省]

研修制度 / キャリアステップを支えるサポート体制 17

メンター × メンティー 18

 理財局財政投融资 総括課財務企画係 板倉 拓也 [平成27年入省]	理財局 総務課文書係 和田 尚馬 [平成30年入省]	国際局 総務課総務係 菱川 彩香 [平成27年入省]	国際局 総務課総務係 細田 亜樹 [平成30年入省]
---	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

 **ワークライフバランス** 19
ライフステージに合わせた柔軟な働き方
国際金融公社東京事務所
武木田 亜沙美 [平成17年入省]

 **1年目職員からのメッセージ** 21

採用担当者からのメッセージ

このパンフレットを読み進めればわかっていただけると
思いますが、財務省職員が立ち向かう課題は多岐にわた
り、また深い洞察を要します。世の中の一時的な雰囲気や、
はやりの言説に流されず、職員の知力、経験、人間力を総
動員して誠実に考え抜き、説明し、納得を得て、実現するこ
と、常に当事者であること、それが財務省職員の姿勢です。

また、公のために働くことの誇りを失わず、国民の皆様
や世界の人々の声に耳を傾け、社会全体から学び続ける
謙虚さも必要とされる集団です。

そんな財務省が、国民の皆様からの行政に対する期待
に応え、責務を果たしていくために最も必要なのは、強い
権限でも多くの情報でもなく「人材」です。国民の皆様が安
心で希望と誇りを持って暮らせる社会の実現に向けて、こ
れまで以上に多種多様な能力、経験を持つ職員を必要とし
ています。

採用活動の際、私たち採用担当者は、明るくて元気の良
い人材にどうしても注目しがちですが、例え物静かであっ

ても、自分の頭で考え、自分の言葉で説明しようとする姿
勢を持っている、そういった人にも注目しています。

また、伸びしろを感じさせる、素直で向上心にあふれ、成
長ストーリーをイメージできるなど、そういった人材も強く
求めています。

そして、私たちは財務省で働く職員のことをもっと知っ
ていただきたいと思っています。財務省の門を叩き、国内
外で生じている様々な課題に対し、職員がどのように仕事
を実践しているか、直に話を聞いてみてください。

実際に財務省で勤務している職員の生の声は、きっと皆
さんの心に何かを残せるものと信じています。

皆さんが志している「公のために働くこと」は、どれもす
ばらしい仕事ばかりです。前向きに業務に取り組めば、や
りがいはあふれるほど得ることができます。

7万人を超える財務省職員と手を携えて、国民の皆様や
世界と向き合っている個性・才能との出会いを楽しみに
しています。



大臣官房秘書課人事調査官

岡田 芳明
Yoshiaki OKADA

主計局

主計局
主計官補佐
(農林水産第一係担当)

門倉 大輔
Daisuke KADOKURA
[平成 10 年入省]

第 1 部 財務省の業務

国の歴史の1ページをつくる

現在の業務について

私が所属する主計局農林水産係(総勢20名)は、その名の通り、農林水産関係予算(31年度:約2.3兆円)の査定(=予算編成)業務を担当しています。予算編成は、各省庁から概算要求書が提出される8月末にスタートし、政府予算案が閣議決定される12月末まで続きます。この間、農林水産省の担当者と事業の必要性、支援方法の適切性などについて議論するとともに、農林水産係内でも、政策目的を達成するためにより良い手法はないかなどについても検討を行う日々が続きます。

このようにして担当者として査定案を作り上げ、その後、上司への説明や、上司の指摘を踏まえた査定案の見直しといった様々なプロセスを経て、自分が検討し作り上げた査定案が、政府予算案の一部として12月末に閣議決定されることとなります。

現在の業務の中で中心的な業務は予算編成業務ですが、他にも、予算に関する各省庁からの照会・協議への対応、予算執行調査などの業務も行っています。また、知見を蓄積し、予算編成過程において充実した議論を行うため、農林水産業の現場を訪ね、現場で働く方々の意見をお伺いする等の取組も行っています。



主計局概要

●国の予算の編成や決算の作成、会計制度の企画・立案等
社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給など国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。予算編成過程における各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。

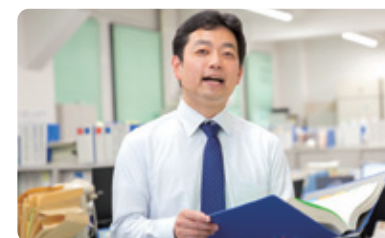
主計局のやりがい

「予算」は国民生活に直接影響があるため、マスコミ等の関心も高く、また、国の歴史の1ページとして後世に残るものなので、そのような予算の編成業務に携われること自体が魅力・やりがいの一つだと思います。今回は、予算編成を経験した私が感じた、もう少し身近な魅力・やりがいについて紹介します。

まず一つ目は、全省庁の予算査定を担当しているので、予算面から、全ての省庁の行政分野にアプローチ(携わる)することができる点です。今まで担当したことのない行政分野を担当することも多々あり、知見のない分野の勉強(知見の蓄積)を1からすることは大変ですが、それでも、様々な行政分野に携われることは貴重な経験になりますし、このような経験ができる部署はあまりないと思います。

二つ目は、各省庁の担当者と建設的・論理的な議論を積み重ね、信頼関係を築きながら共通のゴール(予算)を目指す点です。私は、予算は主計局だけで作り上げるものではなく、各省庁の担当者の主張と真摯に向き合い、また、主計局という第三者的な立場から前向きな提案を行い、互いに協力して作り上げていくものだと思っていますが、省庁の枠にとらわれず、共通のゴールを目指していく業務はあまりないと思います。

人によって魅力・やりがいを感じるポイントは違いますが、主計局は、働いてみる価値のある、魅力・やりがいのある職場だと思います。



理財局

理財局
国債業務課
借入金係長

今井 愛

Ai IMAI

[平成 22 年入省]



多岐にわたる業務を通じて

現在の業務について

理財局国債業務課借入金係長として、国が民間金融機関から資金を借り入れる際の入札事務手続きを担当しています。現在、資金調達を実施しているのは三つの特別会計で、毎週1、2回入札を行っています。

入札においてはシステムを使用しており、借入条件・入札結果の通知、入札書の提出・収受、借入金の債務管理等を行っています。システムに関する予算要求や調達・執行業務はもちろん、システム業者と協力しながら運用・保守業務も行っています。予算要求に関しては、機能改修だけでなく制度改正に伴うものも含んでおり、直近では、皇太子さまの新天皇即位に伴う改元に関する改修を行いました。

調達業務においては、調達仕様書の作成や入札説明会の実施など、これまで経験したことのない業務に携わることができ、知見を広げ、自分自身を成長させる機会に恵まれたと感じています。



理財局のやりがい

業務内容が多岐にわたることが第一に挙げられると思います。「理財局概要」にも記載がありますが、非常に様々な業務を行っています。なかでも国債業務課は、日々の入札を行う上で証券会社等にヒアリングをし、市場環境や投資ニーズを把握するよう努めています。財務省内で積極的に民間金融機関と接触をしている部署は少なく、市場の生の声に日々接する機会を持つことは、マーケット担当部署だからこそ味わえる大変貴重な経験です。

また、国全体の資金繰りを担当する「国庫課」という部署があることは意外と知られていません。簡単に言うと、国全体の財布があるのが理財局で、他省庁のどこを探しても財務省にしかありません。国が公共サービスを提供するにあたり、税金や国債等により資金を調達して支出を行うといった財政活動を行いますが、所有する現金である国庫金を一元的に管理して効率的な運用を行うことも理財局の業務の一つです。

このように、様々な業務を通して、貴重な経験をできることが理財局の魅力だと思います。

理財局概要

●国庫・通貨

収入支出の調整(資金繰り)を行うなど、国庫金の効率的・統一的な管理、運用を図っています。また、通貨に対する信頼維持のため、通貨制度の企画・立案、通貨の製造計画の策定、偽造対策等も行っています。

●国債管理

税収等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行により、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

●財政投融资

税財源によらない国の投融资活動です。リスクが高く、民間では十分に対応できないものの、政策的必要性から資金供給を行うべき分野に対して、財投債の発行によって調達した資金などを財源として、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

●国有財産

国有財産は、国が所有する土地や庁舎等の建物といった不動産、国が政策的な出資により取得した株式など、国民共有の資産です。こうした国有財産を適正に管理または処分し、財政に貢献するとともに、地域・社会のニーズに応じて有効に活用しています。



国際局

国際局
地域協力課
課長補佐

渡辺 直人

Naoto WATANABE

[平成 5 年入省]



日本を超えて世界へ

現在の業務について

国際局の地域協力課という部署で、アジアにおける金融協力分野の仕事に従事しています。ASEAN10ヵ国と日中韓の財務省・中央銀行の当局者からなるASEAN+3の財務プロセスでは、アジア地域内の危機時に外貨資金(ドル)を相互に融通するためのセーフティネットであるチェンマイ・イニシアティブ(CMIM)、アジア地域内のマクロサーベイランスの実施のほか、現地通貨建て債券市場を育成する枠組み(アジア債券市場育成イニシアティブ(ABMI))等を議論し、これまで、ASEAN+3マクロリサーチ・オフィス(AMRO)の誕生(2011年)やその国際機関化(2016年)、信用保証・投資ファシリティ(CGIF)の設立(2010年)といった具体的な成果を上げています。

日本が今後、国際社会で生き抜いていくためには、アジアとの連携が欠かせません。アジアの実務レベルでの政策当局者との日々のやり取りや交渉を通じ、日本が国際金融面でアジアにどのような貢献が可能なのか、日々考えながら業務に邁進しているところです。



国際局のやりがい

日本という国のために仕事ができること、これが国家公務員の醍醐味だと思います。その中でも国際局のやりがいは、日本という範疇を超えて、グローバルな視点で仕事ができることです。以前、私は米国ワシントンの国際機関に二度出向した経験があるのですが、外から日本を見てこの国の良さを改めて実感しました。この恵まれた環境を維持・発展させていくために、自分自身が果たしうる役割は何なのか自問自答する毎日です。

財務省と聞くと国家予算の作成や税制に関するイメージが強いかもしれませんが、外国為替に関する制度の企画・立案や、G20を通じた国際金融システム安定に向けた取組、開発途上国の問題に対応するためのODAの効率的・戦略的活用など、実際の業務はとても多岐にわたっています。日常生活や大学の勉強では学べないようなことを学ぶ機会が多く、とても刺激的な環境です。



国際局概要

●国際通貨政策

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理などにより外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金(IMF)関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向けた制度強化に関する国際的な取組に参画しています。

また、チェンマイ・イニシアティブやアジア債券市場イニシアティブなどの取組を通じて、通貨危機の予防対処のためのより前進した枠組みの実現に向けたアジア地域内における地域金融協力に取り組んでいます。この他、テロ資金供与や大量破壊兵器の拡散防止への資金支援といった国際金融システムの濫用の防止にも取り組んでいます。

●開発援助政策

政府開発援助(ODA)の効率的・戦略的な活用、円借款、国際協力銀行、国際開発金融機関(MDBs)を通じた支援、地球環境問題、債務問題への取組など、開発途上国における安定的な経済社会の発展に役立つ資金協力等を推進しています。

主税局

よりよい税制のための不断の見直し

主税局は、総務課、調査課、税制第一課、税制第二課及び税制第三課の五つの課と、参事官室からなり、局長以下約190名の職員が、より良い税制を作るべく、税制の企画・立案、税制改正法案の作成や国会対応等に日々奮闘しています。税制は税務行政とも密接に関連することから、職員の7割弱を国税局や税務署出身の職員が占めているのが主税局の特徴です。

総務課では租税政策全般に関する企画・立案・租税収入の見積もり等、調査課では外国税制の調査等、税制第一課では所得税・相続税等及び税務手続きに関する制度等の企画・立案、税制第二課では消費税及び酒税

等の個別間接税に関する制度の企画・立案、税制第三課では法人税に関する制度の企画・立案、参事官室では外国との租税に関する協定の企画・立案をそれぞれ担当しています。

税制は、経済活動に大きな影響を与えることから、不断の見直しが求められます。主税局では、経済社会の変化や国際情勢を踏まえてどのような見直しが必要か、毎年秋から冬にかけて集中的に検討を行い、翌年の通常国会での税制改正法案の成立を目指します。例えば、最近では働き方の多様化を踏まえた所得税の見直しを行いました。

関税局

国際貿易の秩序ある発展に向けて

税関は、我が国の経済・社会秩序を維持するため、覚醒剤などの不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品などの密輸入取締り、輸出入貨物の通関、関税や消費税等の徴収などを行う行政機関です。

関税局は、この税関の司令塔としての機能を有する組織であり、税関行政に関する様々な政策や制度の企画・立案等を担当しています。具体的には、不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品などの取締方針や制度の策定、警察等の関係機関や関係業界との連携や、IT化の推進などを行っています。

また、関税局は税関・通商分野での国際交渉や国際協力を担う機能も有しています。例えば、RCEP（東アジア地域包括的経済連携）等の経済連携交

渉をはじめ、WTOや世界税関機構などにおける国際ルール作りへの貢献、外国税関との連携強化を目的とした相互支援協定の締結、外国税関に対する制度・人材育成の支援など、国際貿易の促進や日系企業の海外進出を後押ししています。

さらに、関税局・税関では貿易統計を発表しており、我が国の重要な経済指標の一つとして国内外で活用されています。

このように、関税局は国民生活に直結する政策に従事するとともに、執行機関である税関との関わりが深い組織であることが特徴として挙げられます。

大臣官房

大臣官房
文書課国会係

金原 和歩

Kazuho KINPAPA

〔平成 29 年入省〕

財務省の看板を背負って

現在の業務について

私が所属する大臣官房文書課は、その名の通り財務省全体の文書管理から国会対応、機構・定員管理、広報、サイバーセキュリティまで幅広い業務を所管しています。その中でも私は、入省してから2年間、財務省全体の国会対応業務を担当しています。

昨年度は日本の行政の中枢・霞が関で勤務をしていましたが、今は日本の政治の中枢・永田町にある国会議事堂内の国会連絡室で勤務をしています。国会連絡室では行政府と立法府の連絡調整に関する仕事を行っているため、国会議事堂内に事務室があります。

現在の主な業務は、国会関係情報の収集と財務省本省への情報展開、予算案や財務省が提出する法案の各党党内手続きのための連絡調整などです。他省庁も同じように国会議事堂内に事務室を設けているため、会期中は予算委員会をはじめとする財務省が所管する委員会から、他省庁が所管する委員会への連絡調整に関する仕事を行っています。



大臣官房概要

●財務省の内部管理と行政事務の総合調整役

具体的には以下のような業務があります。

- 秘 書 課：職員の人事・給与等
- 文 書 課：国会窓口、機構・定員管理、広報等
- 会 計 課：財務省の予算、庁舎管理等
- 地 方 課：財務局との連絡・調整等
- 総合政策課：経済情勢の調査・分析等
- 政策金融課：政府系金融機関の監督等
- 信用機構課：預金保険機構の監督等

現在の業務のやりがい

議員会館や政党本部にも足を運ぶことが多く、財務省の看板を背負って連絡調整をしているため責任も大きいですが、日本の政治が動く瞬間を目の当たりにすることも多々あり、とても刺激的な環境です。

また、通常国会や臨時国会では、それぞれメディアが取り上げる目玉法案があり、その法案の衆院通過時や可決成立時には与野党の攻防の現場に立ち会えるため、テレビの向こう側の世界ではなく、国の意思決定と歴史がつくられる瞬間を肌で感じます。

このように、行政府と立法府との橋渡し役となっていることや、財務省や他省庁が提出する法案が成立するまでの過程を追うことに、日々の業務のスケールの大きさを感じるとともに、財務省における国会対応の最前線に立って仕事をしていることに、国会対応業務のやりがいを感じます。



浩之

[平成 13 年入省]

現在の業務について

私の主な業務は、IDBの各部局で組成される技術協力案件に対して、日本信託基金による支援が可能か審査を行うこと、また、日本信託基金によって支援中の案件が適切に実行されているかモニタリングを行うことです。申請書類を受領後、担当者から案件の説明を聞き、予め定められたガイドラインに基づいて支援可能かを審査し、財務省に対して承認を求める手続きを行います。モニタリングの業務は、専用のシステムを通じて、実行中の案件に遅れが生じていないかなど進捗状況を確認するほか、現地に出張して受益者から直接お話を伺うなどの実地調査も行っており、私はこれまでホンジュラス、ペルー、ガイアナへ出張しました。ホンジュラスにおいては、日本信託基金によって支援した貧困削減を目的とした案件の成果を紹介するため、政府職員や現地のNGO等の関係者約100名を集めたワークショップも開催しました。また、日本信託基金設立30周年記念のイベントをIDB本部で開催し、これまでの日本信託基金による貢献を紹介するとともに将来の案件形成に向けて日本の先進的な知見や事例の紹介を行いました。

海外勤務の魅力と苦勞

IDBIには中南米出身の職員が多く、部内の会議では英語に混じって時折スペイン語が飛び交うこともあり、理解できずに苦勞することが多々あります。また、中南米出身の職員は陽気でおおらかな人が多く、楽しくリラックスして仕事ができる反面、時間の感覚が日本人とは少し違うため、我慢を強いられることもあります。

休日の過ごし方

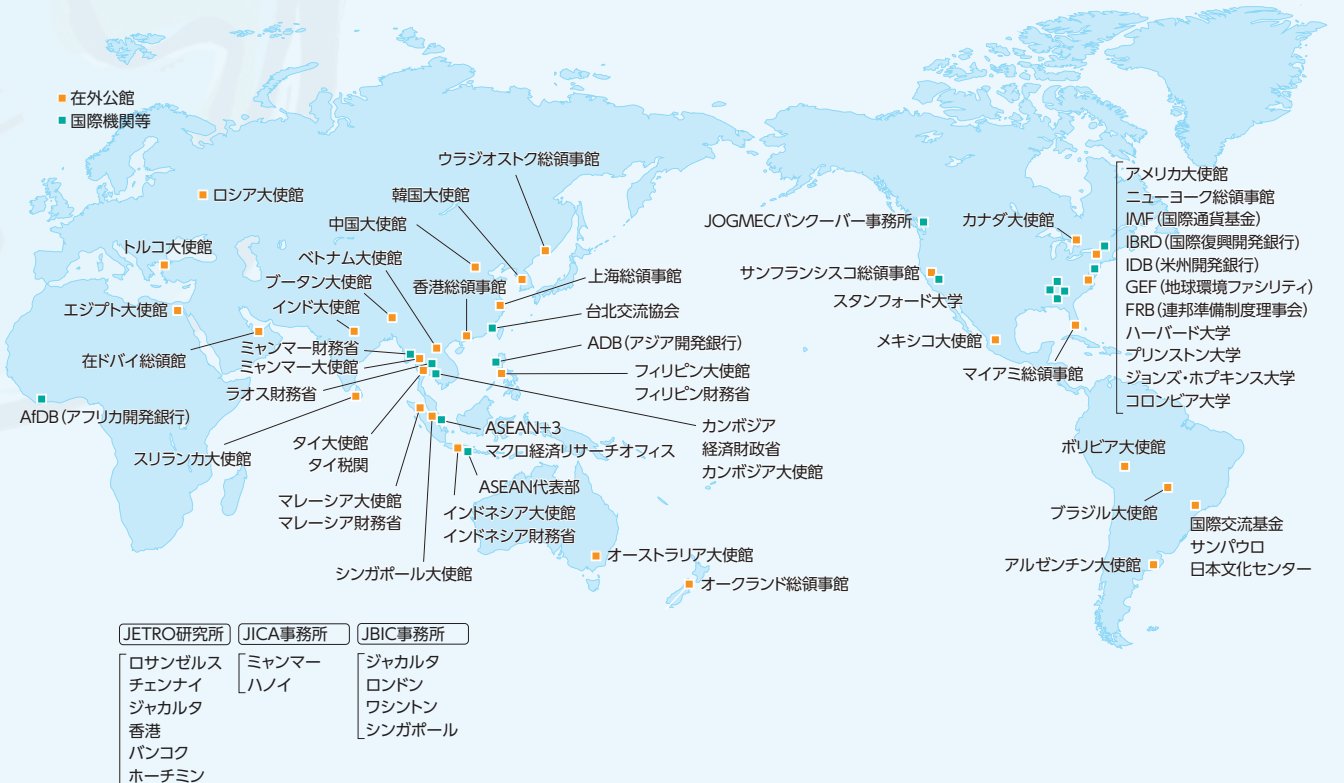


と、カナディアンロッキーのきれいな湖を見て回ったこと、そして、バージニア州の自宅からシカゴやイエローストーンなどを經由して西海岸のシアトルまで行き、さらにテキサス州などの南部の都市を転々としながら車でアメリカ1周を達成したことです。

志望者へのメッセージ

今回は二度目の海外赴任で、前回は2009年から3年間、インドネシアのジャカルタに駐在事務所がある国際協力銀行に outwarding していました。国際的な仕事をしたい、海外で働いてみたいという方がいましたら、財務省、特に国際局には海外赴任や海外出張の機会がたくさんありますので、皆さんの希望を実現できる環境があると思います。ぜひ将来、皆さんと一緒に仕事をできることを楽しみにしています。

また、国内各地の地方支分部局や地方自治体でも多くの職員が活躍しており、他省庁に出向する機会もあります。



ヨーロッパ



日本国内





係員の
1日

理財局
国債企画課国債総括係

片田 峻亮
Shunsuke KATADA

[平成 28 年入省]

現在の業務について

私が所属している理財局国債企画課では、日本の借金である国債が、国民経済の各局面において受け入れられるよう、国債の発行、消化、流通及び償還の各方面にわたり種々の政策(=国債管理政策)を実施しています。国債の確実かつ円滑な発行及び中長期的な調達コストの抑制を国債管理政策の基

本目標とし、国債発行計画の策定、各種懇談会等を通じた市場との対話、国債保有者層の多様化等に取り組んでいます。特に国債広告については、現在の国債の主な保有者が金融機関に偏っていることから、個人に対しても国債を保有してもらうべく、業務に励んでいます。



私の朝は財務省内にある売店のコーヒーから始まります。少し早く出勤してコーヒーを飲みながらメールをチェックし、1日の予定を確認します。定時である9時30分になったら国債企画課内の出勤簿を整理し、隣の国債業務課で行われている朝会(※前日の国債マーケットの動きを報告する朝の会議のこと)や、週2回開催される財務省内の英会話研修に参加しています。そしてようやく1日の勤務開始です。

まず初めにすることは、他の局から送られてくる作業依頼を国債企画課内に展開し、取りまとめることです。国債総括係が国債企画課内の窓口になっているため、文書管理や職員の研修、給与管理等の様々な依頼があり、担当する業務は多岐にわたります。案件によっては上司に説明する必要があるため、自分が上司だったらどういった判断をするだろうかということを考え、業務の内容を理解してから取り組むよう心掛けています。



昼食はどこで食べても自由ですが、私は財務省内にある食堂で食べています。安くて量が多く、日替わりでバリエーション豊富なことから昼食時は職員で満席です。中には他省庁からわざわざ食べに来る人もいます。私は上司以下4人で食べに行くことが多いのですが、業務中とは異なりフランクな会話ができるのでコミュニケーションの場として大切な時間です。時には他省庁や他部署にいる同僚と、虎ノ門界隈のお店に行くこともあります。

午前中の取りまとめ業務が一段落すると、国債広告業務に取り掛かります。限られた予算の中で効果的な広告を行うべく、委託会社である広告代理店の提案をもとに様々な広告を行っています。例えば、金融機関で掲示するポスターやインターネット広告、新聞・雑誌広告などを実施しており、個人向け国債についてより多くの方に知ってもらえるように尽力しています。時にはイベント会場にブースを出展し、来場者に対して直接、個人向け国債の魅力を説明することもあります。

仕事が終わった後の私の楽しみの一つは飲みに行くことです。上司や同僚、大学の友人と行くことが多いですが、やはり仕事終わりの一杯は格別です。また、国債両課(国債企画課と国債業務課)では業務に関する研修も充実しており、通信研修等で債券等の専門知識を学ぶことができます。国債の知識が全くない状態で、現在の係へ異動してきた私にとって、研修で学ぶことができるのは大変なことです。仕事が早く終わった日は、帰り道のカフェで勉強して日々励んでいます。



社会人にとって休日は気分転換をする貴重な時間です。平日は、デスクワークが多く身体を動かす機会が少ないので、休日はなるべくアクティブに過ごしています。最近熱中しているのは、社会人になって始めたゴルフと皇居ランです。職場の先輩に誘っていただいたのがきっかけですが、スポーツを通して同僚をはじめとした多くの人と交流ができ、休日の楽しみになっています。その他にも、定期的に学生時代の友人と旅行をしたり、飲みに行って近況を報告し合うことも欠かせません。色々な仕事の話を聞くことは刺激にもなります。休日を楽しく過ごすことが最良のストレス発散方法です。



係員の
1週間

主計局
厚生労働総括係

佐竹 千尋
Chihiro SATAKE

[平成 29 年入省]

現在の業務について

私は現在、主計局厚生労働総括係に所属しています。係の窓口として、取りまとめ業務を行うほか、厚生労働省の大臣官房の予算の査定業務を担当しています。現在、社会保障関係費は一般会計歳出の約3分の1を占めており、注目度も高い分野であるため、日々多くの案件が動いています。予算編成

は、8月末に各省庁から概算要求を受け、折衝を重ね、年末の政府予算案の閣議決定というゴールに向かって段階を踏んでいきます。そのため、時期によって1週間の業務は様々ですが、今回は概算要求～査定作業スタート時をご紹介します。



先週末に厚生労働省から概算要求を受け、膨大な量の調書が提出されました。それの一つひとつ確認作業を行います。この確認作業は、各担当者をお願いするものもあれば、全体の数字を総括係として確認するなど多岐にわたります。特に数字については誤りが許されないで、厚生労働省の担当者と読み合わせを行い、入念にチェックします。

概算要求の確認作業が終了したので、厚生労働省の担当者からヒアリングを実施します。私の担当している厚生労働省の大臣官房の予算には、厚生労働省全体の事務費や、国際的な機関への支援事業などが計上されています。事業概要については、編成期前に「所管事項説明」というヒアリングを行い、予習をしておりますので、今回はどのような予算要求となっているのか、細かな積算をチェックしながら進めていきます。

ヒアリングを受けた後は、一度持ち帰り、整理をしていきます。財源は限られていますので、果たして本当に必要な予算であるのか、積算に誤りはないか、金額は多すぎないか、少なすぎないかなど様々な角度から精査していきます。日中は資料作成等の突発的な作業依頼がありますので、それにも対応しながら、自分の作業を進める必要があります。



精査を行う中で、疑問の残る部分は厚生労働省の担当者に確認します。何度もこのような折衝を重ね、折り合うポイントを探っていきます。今日は業務に区切りをつけ、終業後、同期とご飯に行きました。編成期中でも、比較的落ち着いた時期には隙を見つけて早めに仕事を切り上げます。

厚生労働省から一通りヒアリングを終えたので、資料を揃え、今後の大まかな方向性を上司である課長補佐に報告します。説明を受ける側から説明する側に立場が変わります。自分では捉えきれなかった問題点を指摘していただき、また、処理に困った部分はアドバイスをしていただき、さらにブラッシュアップしていきます。



繁忙期は家でのんびり過ごし、体力回復に充てることも多いのですが、余裕があるときは身体を動かしています。学生時代から続けている剣道の試合に出場したり、冬は地方のゲレンデに足を延ばしてスノーボードを楽しんだりしています。掃除、洗濯などたまった家事を無心でこなす時間も好きです。休日でリフレッシュすると、1週間のモチベーションが変わってきますので、週末の時間は大切にしています。



キャリアステップ

財務省本省一般職の職員はキャリアのなかの様々な経験を通じ、スペシャリストに成長していきます。
ここでは職員がどのようにキャリアを歩んでいくのか、
どのようなことを意識して日々の業務に取り組んでいるのか各階層ごとに紹介します。

係員



理財局財政投融資総括課資金企画室資金企画第一係

二宮 瑠里 [平成 26 年入省]
Ruri NINOMIYA

平成 26 年 5 月 国際局 開発機関課
平成 28 年 7 月 大臣官房 会計課
平成 30 年 7 月 理財局 財政投融資総括課

係員に求められること

能動的であることです。目の前の仕事に追われることが多く、受け身になりがちですが、スケジュール感を意識し、この仕事は何を意味するのかを理解し整理する、そして業務を効率化するために周囲の職員に働きかけることが大切です。

また、アンテナを高く張って上司の会話や課の雰囲気を読み取ることで、今何が必要とされているのかを認識し、臨機応変に行動することが求められます。もちろん自分では判断できず行動できないこともありますし、アンテナを張ることは難しいことですが、積極的に上司や先輩に質問・相談し、お手本となる職員から学んで成長していくことが、係員に求められることだと思います。



係長

30歳代前半



大臣官房秘書課服務第二係長

天谷 季子 [平成 21 年入省]
Tokiko AMAYA

平成 21 年 5 月 理財局 財政投融資総括課
平成 22 年 7 月 理財局 総務課
平成 23 年 7 月 理財局 国債業務課
平成 24 年 7 月 主計局 総務第一係
平成 26 年 7 月 大阪税関 南港出張所
平成 27 年 7 月 大阪税関 関西空港税関支署
平成 28 年 7 月 理財局 総務課 調査主任
平成 29 年 7 月 理財局 国庫課 通貨企画調整室 総合資金係長
平成 30 年 7 月 大臣官房 秘書課 服務第二係長

係長に求められること

「自分の考えを持つこと、そして実行していくこと」だと思います。係長は、制度や施策の設計に関わることや、既存の制度に問題があれば対応策を考えることなど、新しく何かを作り出す業務がメインとなります。そのため、「自分はどうしたいのか、なぜそう考えるのか」と主体的な意見を持つことが非常に大切だと思っています。

一方で、自分の考えだけで何かを押し進めるのではなく、上司や部下と情報共有をはかり、協力して仕事を進めることも大切で、これは係員の頃と変わらないかなと思います。とはいえ、譲れない部分はきちんと相手に説明し納得してもらう必要があるので、自分の考えを端的に分かりやすく説明する能力が非常に大切であると、日々実感しています。



課長補佐

40歳代前半



国際局調査課課長補佐

氷海 剛 [平成 6 年入省]
Tsuyoshi HYOKAI

平成 6 年 4 月 国際金融局 総務課
平成 7 年 7 月 国際金融局 金融業務課
平成 9 年 7 月 理財局 総務課
平成 11 年 7 月 関東財務局 理財部 金融監督第1課
平成 13 年 7 月 国際局 開発金融課 地域第四係長
平成 14 年 7 月 国際局 開発機関課 開発機関第二係長
平成 16 年 7 月 国際局 調査課 企画係長
平成 18 年 5 月 外務省へ出向(在フランス日本国大使館)
平成 21 年 7 月 国際局 開発政策課 課長補佐
平成 24 年 7 月 アジア開発銀行へ派遣
平成 27 年 7 月 国際局 開発政策課 開発金融専門官
平成 28 年 7 月 関東財務局 アジア開発銀行横浜総会準備事務局
平成 29 年 7 月 国際局 調査課 課長補佐

課長補佐に求められること

自分が担当している事柄について、どの方向へ進めていくかを考え、実際の政策として仕上げていく中心となるのが課長補佐です。部下と連携し、必要な情報を集め、それを基に案を作成し、関係者間の調整や幹部への相談・説明を中核となって行います。また、国際会議の対処方針を作り、自ら出席して意見を述べ、他国と調整を行う機会もあります。自分で決められる範囲が広く、大変やりがいがありますが、適切な判断を行うには、物事を一方向からだけ見るのではなく、多方向から、広い視野をもって検討することが重要です。その前提となるのは、係員・係長時代における、様々な人と協力して取り組んだ業務経験の蓄積だと思います。



管理職

50歳代前半



関東財務局千葉財務事務所長

大島 朗 [昭和 58 年入省]
Akira OSHIMA

昭和 58 年 4 月 大臣官房 調査企画課 資料統計管理室
昭和 60 年 5 月 財政金融研究所 総務室
昭和 60 年 7 月 大臣官房 秘書課
平成 6 年 7 月 大臣官房 金融検査部 管理課
平成 7 年 4 月 大臣官房 金融検査部 管理課 金融証券検査官
平成 8 年 7 月 理財局 国債課 内国債第二係長
平成 9 年 7 月 (独)中小企業総合事業団へ出向
平成 11 年 7 月 大臣官房 秘書課 人事第三係長
平成 13 年 7 月 大臣官房 秘書課 人事第一係長
平成 15 年 7 月 大臣官房 秘書課 課長補佐
平成 22 年 7 月 金融庁へ出向(総務企画局総務課課長補佐)
平成 26 年 7 月 大臣官房 秘書課 人事調査官
平成 29 年 7 月 東北財務局 理財部 次長
平成 30 年 7 月 関東財務局 千葉財務事務所長

管理職に求められること

職員との信頼関係を築くことや、職員が意欲を高め、能力を存分に発揮できる環境づくりが何よりも重要だと考えています。そのため、日頃から積極的に職員に声をかけ、各階層の職員と双方向のコミュニケーションを密にし、話しやすく風通しの良い職場環境の醸成に努めています。

実際に業務をマネジメントしていく上では、職員と業務の課題を共有し、業務全体の進捗状況を把握する中で、明確な意思決定と分かりやすいアドバイスを心掛けています。また、職員が意欲的に業務に取り組めるよう、部下の意見や主張には耳を傾け、積極的に業務に活かしています。

人材育成はもとより、コンプライアンスや組織力向上のため、伸び伸びとした一体感のあるオープンな職場を目指しています。





基礎研修について

新規採用された職員は、西ヶ原(東京都)の研修合同庁舎にて、全国の財務局に新規に採用された職員と共同生活を送りながら、約2ヵ月間の合同研修(全寮制)を行います。

この研修では、国家公務員としての基礎知識や財務省職員として必要な専門知識等を得得することだけでなく、共同生活を通じて研修生間の連帯感を培うとともに、集団内の個人の立場や役割を学んでいただきます。

基礎研修についてのコメント

講義は専門的でその分野は多岐にわたりますが、大学で講義を持つ先生方や実際に働く先輩職員の方々に基礎から教えていただけるので、予備知識がなくても講義に臨めました。座学のほか、ビジネスマナーもカリキュラムに含まれているので、不安なく社会人生活をスタートすることができました。また、研修中は同期と2人一部屋で生活をします。序盤こそ慣れない環境に戸惑いますが、講義で分からないことなどをお互いに共有し、助け合えたことは心の支えになりました。

大臣官房
秘書課
人事第三係

横田 冴介 [平成30年入省]
Sasuke YOKOTA



各種研修・自己啓発について

職場に配属された後も、役職・業務に応じた研修や、自己啓発意欲を高め、業務に関連する知識や技能を得得するための研修など、安心して業務に取り組めるよう、充実したサポート体制が整っています。

役職・業務に応じた研修

- 係 員 …… 各職場において実務研修を実施。基本的な法律や事務の流れなど、実務上必要な基礎知識を補う。
- 係 長 …… 政策に関する知識を深め専門性の向上を目的とした実務研修や、コミュニケーションスキルなど指導者としての能力を高める研修を実施。
- 課長補佐 …… マネジメント等管理職員に求められる能力及び資質を高める研修を実施。

これらの他、渉外事務に従事する職員に、個人の会話能力に応じたレベル別の語学研修や英文によるビジネス文章の書き方を習得するための語学研修等を実施。

自己啓発

職員の能力開発と業務遂行能力の一層の向上を目的として、学習意欲のある職員に、ファイナンシャル・プランニング技能検定や簿記検定など、各資格試験等の受験をサポートする研修を実施。(通信研修)



メンター

理財局財政投融資総括課
財務企画係

板倉 拓也

Takuya ITAKURA

[平成 27 年入省]

メンティー

理財局
総務課文書係

和田 尚馬

Shoma WADA

[平成 30 年入省]

メンター

国際局
総務課総務係

菱川 彩香

Ayaka HISHIKAWA

[平成 27 年入省]

メンティー

国際局
総務課総務係

細田 亜樹

Aki HOSODA

[平成 30 年入省]

メンター×メンティー

メンター制度とは？

新規採用者が1日でも早く職場の雰囲気になじみ、働いていけるよう年齢に近い先輩職員が、指導役(メンター)として、新規採用者(メンティー)に対して、公私にわたり指導助言を行う制度

職場でのサポートについて

板倉(メンター)

職場では先輩職員というよりは、もう少し距離の近い存在として接するように心掛けています。職場ですれ違う際には「最近どう?」と私から話しかけることが多いですが、メンターとして大事なことは、職場で

和田君が困った時に、話しかけやすく、相談しやすい存在であることだと思うので、定期的に行う面談の際にも、壁を作らず、真面目な話から雑談まで何でも話せる関係、雰囲気作りを心掛けています。

和田(メンティー)

職場における板倉さんは他の先輩職員の方々よりも距離感が近く、些細なことでも気軽に相談することのできるお兄さんのような存在です。積極的に声をかけてくださるので、近況を報告しやすく、時には業務と関係のないようなことまで相談に乗ってもらったりしてい

ます。社会人1年目ということもあり、日々当たっては砕ける毎日を過ごしていますが、困ったときの対処法や、日々心掛けること、果てはプライベートのことまで板倉さんからは色々な金言をいただき、心の支えになっています。



プライベートでのサポートについて

菱川(メンター)

仕事後に一緒にご飯へ行った時など、プライベートの話も交えて他愛もない話をお互いしています。同ページのお二人と一緒に4人でご飯に行ったこともあり。先日は2人でインドカレーを食べに行きましたが、そうした時間は細田さんの職場とはまた違っ

た一面を見ることができて、大切な時間だと思いました。1年目の時は業務以外のことで分からないことが多々生じると思うので、年が近いからこそ、そうしたところを中心に気付くことができるように心掛けています。

細田(メンティー)

先日のインドカレーの会では、悩んでいることや日々の業務の話等、様々なお話ができました。職場を離れて外でお話することで、女性としての今後のライフイベント等、プライベートなことも相談しやすいです。また、菱川さんは大臣官房総合政策課で勤務された経験も

あるので、国際局だけでなく、他局のお話を聞くことができるのも、今後のキャリアパスを考えていく上で非常に参考になります。同じ職場にプライベートなお話ができる女性がいるということは、貴重なことだと思いますし、それがメンター制度の醍醐味だとも思っています。



ワークライフバランス

財務省における女性職員の割合は増加してきており、今後は、その活躍を図るための積極的な対応が求められます。また、こうした女性職員の活躍の視点に加え、優秀な人材の確保、心身の健康の維持、広い視野に立った政策立案、次世代の社会を担う子どもの育成環境の整備を可能にするためには、男女を問わず職員全体について、仕事の質と能率性の向上、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を確保できる働き方を実現していく必要があります。

育児関係

妊娠～出産まで

- 妊娠中** 通勤ラッシュを避けて登庁できる**通勤緩和・業務軽減等**、妊娠中の女性職員の負担を減らす制度があります。
- 出産時** **産前休暇**（産前6週間前）、**産後休暇**（出産の翌日から8週間）が与えられます。
- 出産後** 子どもが3歳に達するまでの間、**育児休業**を取得できます。



男性職員も育児関係の休暇が取得可能

妻の出産に付添うための「**配偶者出産休暇**」や、妻の産前産後休暇期間中に「**育児参加のための休暇**」を取得することができます。また、育児休業を取得する男性職員もいます。

復職後 / 仕事と育児を両立するため、勤務時間を短縮できる制度があります。（※男女ともに取得可能）

- **育児短時間勤務**：子どもが小学校に入学するまで、勤務時間を短縮できる制度
- **育 児 時 間**：子どもが小学校に入学するまで、1日につき2時間以内で勤務しないことを認める制度



その他の支援制度も充実

上記以外にも**保育時間**（子どもが1歳になるまで授乳や託児所等への送迎のため与えられる休暇）や、**子の看護休暇**があります。

復職後の勤務時間の例 / 大臣官房秘書課 Aさんの場合



※休憩時間の短縮 … 妊娠中・子どもが小学校に入学するまでの間や小学生の子どもの送り迎え・家族の介護をする場合、休憩時間を短縮することを認める制度。

介護関係

配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹の介護を行う職員が取得可能な制度があります。

- **短期介護休暇**：年5日（要介護者が2人以上の場合は年10日）
- **介護休暇**：通算して6ヵ月の期間内において、必要と認められる期間
- **介護時間**：連続する3年の期間内において1日につき2時間以内

その他

- **配偶者同行休業**（外国で勤務等をする配偶者と生活を共にするための休業制度）
- **年次休暇、夏季休暇、結婚休暇、忌引休暇** など

時間と場所にとらわれない働き方

一定の条件を満たすことにより、以下の制度を利用できます。

- **テレワーク**（在宅勤務）
- **フレックスタイム制**（職員が自身の勤務時間を割り振ることができる制度）



国際金融公社
東京事務所

武木田 亜沙美

Asami TAKEKIDA

〔平成 17 年入省〕

私は、平成17年に財務省に入省し、主に国際局や、ロンドンにある欧州復興開発銀行の日本理事室で、国際関連業務に携わってきました。平成29年に娘を出産、育児休業を取得後、平成30年4月に復職し、現在は世界銀行グループの国際金融公社東京事務所に外向しています。

ライフステージに合わせた柔軟な働き方

周りのサポート

私の妊娠が発覚したのは突然でした。当時、私は配偶者同行休業※から復帰して半年程しか経っておらず、妊娠は嬉しかったものの、また職場を離れることに申し訳なさを覚え、複雑な気持ちになったことを覚えています。しかし、上司に妊娠を報告すると、大変喜んでくださり、業務でもほとんど残業せずに済むよう配慮していただきました。当時、私は国際局内でも忙しいと評判の課に所属していましたが、産前休暇に入るまで、特に問題なく順調に妊娠期間を過ごすことができたのも、周り

のサポートがあったからこそだと思います。

また、私が産前休暇に入る前に、幹部の方から、「これからしばらくは家庭に力を入れる時期だね」と声をかけていただき、嬉しく思いました。女性だけでなく男性にとっても、長いキャリアの中で、仕事と何かを両立しなければならない時期というのはあると思います。その際に、自分のライフステージに合わせ、柔軟に働くことができる制度が充実していて、さらに周りもサポートしてくれるというのは、とても心強いと思いました。

※配偶者同行休業…外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にするための休業制度。

復職後の生活

毎日の生活は、自転車操業です。朝5時過ぎに起床、娘を保育園に送り、8時半までに出勤、フルタイムで勤務した後、17時過ぎに退社、保育園に娘を迎えに行きます。帰宅後は、娘の夕食、入浴、寝かしつけまで、あっという間に22時を過ぎて1日が終わります。

仕事は波があり、忙しい時期は、夫の母に来てもらったり、ベビーシッターさんをお願いしたこともありますが、基本は残業をせずに、日中に仕事が終わらない場合は、娘が寝てから家で

行います。仕事が忙しい時期に娘が病気になる、仕事と育児の両立に心が折れそうになることもあります。しかし、夫と協力し、職場や保育園の方々のサポートを得ながら、娘の笑顔に癒されつつ、毎日を過ごしています。職場を出て、娘が待つ保育園に向かう時が、一番解放感を感じる瞬間です。



今後について

私は、就職活動の際、仕事をずっと続けたいと思い財務省を選びました。20代は、まずは思いきり仕事をしたいと思い、その希望通りに仕事と勉強に打ち込みました。そして結婚して、子どもが生まれたこれからは、仕事では、限られた時間の中でこれまで以上に最善のパフォーマンスを示すことが課題です。また、自分も周りにサポートしていただいた分、そしてこれから

もサポートしていただく分、私もいずれその恩返しができるかなと思っています。

これから就職される皆さんは、どんな働き方を望んでいますか？価値観や状況は人それぞれ、仕事に打ち込むもよし、いづれ家庭とバランスを取って働くのもよし。財務省でそれを実現してみませんか？

真 面目で堅い職場をイメージしていましたが、実際に働いてみると
気さくで親しみやすい方が多く、とても風通しの良い職場であると感じ
ます。私の所属する課では登山やスノーボード、ゴルフなど休日にも定
期的にイベントがあるので、多くの職員の方と親睦を深めることができ
ています。

入省前と入省後で ギャップはありますか？

人 の良さに惹かれ財務省を志望しま
したが、ギャップを感じた瞬間はほとんど
ありません。1年目ということもあり、未熟
者ですが、作成したメールなどをチェック
してくださる優しい上司・先輩に囲まれ
ながら楽しく業務に取り組んでいます。

キ ャップはありませんでした。説明会に参加
する中で入省前から温かみのある職場だと感
じておりましたが、そのイメージ通りでした。上
司の方が、温かく優しくフォローしてくださり、
恵まれた職場環境にいて感じております。

上 司の話に積極的に耳を傾け、言われる前に準
備が整っている状態を心掛けています。業務上、幹
部に説明する案件が多いので、求められた情報に
すぐ対応できるように使いそうな資料を選別して
おいたり、初めてのことで、まず自分で積極的に
調べ、動くようにしています。

どんなことを心掛けて 働いていますか？

1 年目ということで、まずは目の前にある自分ので
きることを謙虚に取り組むことを心掛けています。ま
た、少しずつではありますが、いろいろなことを吸収
し、身に付けられるように努力しています。

新 しい業務にどんどんチャレンジ
していくことを心掛けています。1年
目は分からないことばかりなので、先
輩方にサポートしてもらいつつ、自分
のできることを増やすようにして
日々の業務に励んでいます。

丁 寧に確認するようになったところです。誤字脱字が
れば相手の信頼を損ねてしまいます。そうならないため
確認するだけでなく、どうすればミス無くすることができ
ながら確認するようになったところが成長した部分だと
感じます。

入省してから成長したと 思う部分はどんなところですか？

上 司や他の職員に対し説明する業務が多いた
め、「準備力」と「説明力」が身に付いたと感じま
す。最近では、限られた時間内での情報収集の仕
方や、分かりやすかつ簡潔に説明する方法を常
に考えながら、業務に励んでいます。

計 画的に物事に取り組めるようになったと感じます。業務
をこなす上で、できるだけ早く着手すること、締め切りから逆
算し計画性をもって対処することを心掛けています。学生時代
は、締め切りギリギリで焦るタイプでしたが、現在は、時間に余
裕をもって行動できるようになったと感じます。

フ レンドリーな方が多く、過ごしやす
い職場だと感じます。また私が困っている
際には、係長だけでなく、先輩方が助けて
くださることも多々あり、良い雰囲気で働
いていると思います。

職場の雰囲気はどうか？

と てもアットホームで、メリハリのある職場です。
業務中は集中して作業しながらも、落ち着いたとき
にはプライベートなどの話で盛り上がり、毎日笑いが
絶えません。終業後には、先輩方と食事や野球観戦
に行ったりしています。

一 見クールなように見えますが、思いやりのある
優しい職員が多く、非常に温かい職場です。分からな
いことや困ったことがあれば、たとえ忙しいときで
あっても丁寧に教えてくれます。人に対する温かさ、
仕事に対する熱さがこの職場の魅力だと感じます。

財 務省には悩んでいる時、困っている時にサポート
してくれる先輩方が大勢いらっしゃいます。そんな職
場で働けていることに日々幸せを感じていますし、就
職活動中の皆さんにも自信をもっておすすめできる職
場です。ぜひ一度説明会に足を運んでみてください。

財務省を志望する方へ メッセージ

財 務省に対するイメージは様々だと思いま
すが、一度頭を空っぽにして説明会に来てみて
ください。きっとあなたが知らない財務省に出
会えると思います。業務の幅広さやダイナミッ
クさではどの省庁や企業にも負けません。皆
さんに会える日を楽しみにしています。

財 務省で実際に働いてみると、思っ
ていた以上にやりがいがあり、毎日楽
しいです。その分責任も伴いますが、自
分も関わった業務が翌日の新聞に載る
ようなこともあり、財務省の一員になれ
たことへの喜びを感じます。皆さんと一
緒に働ける日を楽しみにしています。

平成30年度採用職員12名に、就職活動の思い出や 入省してからの1年間を振り返ってもらいました。

自 分の支えとなっているかけがえのない
存在です。仕事終わりに飲みに行ったり休日
に遊びに行ったり、仲の良い友人でもありま
す。採用直後の基礎研修(17ページ参考)は
全寮制で約2カ月間共同生活を送るので、自
然に同期との距離も縮まると思います。

信 頼できる仲間です。業務上でも、同期と
やり取りする際はいつも以上に仕事がい
やい。同期の頑張っている姿を見ると、自分
ももっと頑張ろうと思えます。仕事だけで
なく、プライベートにおいても大切な存在です。

同期はどのような存在ですか？

公 私共になくってはならない存在で
す。業務上、他の局へ照会
する際は、お互いが窓口となり、円滑
に作業を進めることがで
きます。休日は、一緒にドライブや食事
に出かけ、息抜きをしつ
つ、悩みも共有できるので大きな心の
支柱となっています。

